フォト句会21年9月度成績

開催日:9月13日(月)

時 間:15時~17時

場 所: セー104号室

出席者: 6名(+2投句)

写真出題 : 矢澤



付け句(出題:矢澤) 神代植物園の薔薇園

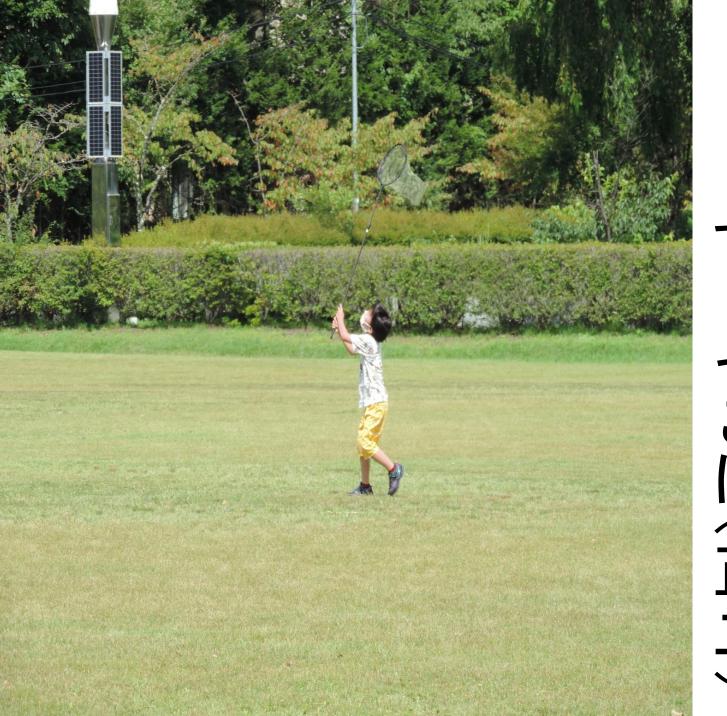
- 1) 陽を浴びて後ろ向きでも一目惚れ 矢澤 正二 どこから見ても好きなものは好き。
- 2) 裸体像困ってしまう目のやり場 中村 晃也真正面からマジマジと見るのは恥ずかしい。
- 3) 裸婦像に見入る少年秋の薔薇 中村 晃也 思春期の少年の好奇心?
- 4) 薔薇園に背中老いたる乙女像 大越 浩平よく見ると背中に黒い苔が生えている。











まぐそこに(正二) 蜻蛉舞う

- 寸 評:
- 1)全員で密な舞台を陳謝する 中村 晃也 オーケストラとコーラス全員そろっての挨拶は稀。
- 2) 異なものをブラリ吊るして秋深む 安藤 晃二 朴の実がこんなものとは。季語の周旋が巧み。
- 3)夏雲の逆立ちしたる鏡沼 松田 昌康 逆さまに映った夏雲を撮り上手く表現した。
- 4)風の盆そっと見守る祠かな 長尾 進一郎端正な祠。風の盆の笛の音が遠くに聞こえる。
- 5) 蜻蛉舞う信濃の秋はすぐそこに 矢澤 正二 蜻蛉は画面には映らないが秋の気配は感じられる。